

# 巻頭特集

## [山梨県立宝石美術専門学校に行ってきました] ジュエリーの街で学ぶ『原石』たち

昭和56年創立の「山梨県立宝石美術専門学校」は全国で唯一の公立のジュエリー専門学校。「ジュエリーを学ぶ学生たちをスペシャリストに育成する」ことを目的に、昨年度より2年制から3年制に指導方針を転換。県内はもちろん全国各地から学生が集まる同校に潜入し、ジュエリーの世界を志す“原石”たちの様子取材した。

〒400-0031  
甲府市丸の内1丁目16-20 ココリ7・8階  
TEL:055-232-6671  
HP:www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/  
E-mail:houseki@pref.yamanashi.lg.jp



フレッシュマンジュエリー・デザインコンテスト2016  
(グランプリデザイン)



廃材を使ってリングの制作。  
想い思いのデザインで...

### 地場産業に根ざした専門学校 ジュエリーの街で知と技を磨く

「石の研磨や彫刻、貴金属の加工など、ジュエリーに関して一通りのことがこの街にはあります。その技術は世界に誇れるもの。ジュエリーに関していえば、それくらいのことがある街です」と、山梨県立宝石美術専門学校の高橋泰准教授。山梨県は、古くから「宝飾の街」として栄え、技術とノウハウを蓄積してきました。現在も職人や業界の最先端を行くプロフェッショナルが育ち続ける場所でもあります。そんな産業の集積地であり、産業を発展させるための人材育成を行ってきたのが山梨県立宝石美術専門学校です。

創立は昭和56年。最初は2年制の専門学校として誕生し、創立当初から現在まで変わらず卒業生の多くはジュエリー業界で活躍しています。最近では山梨から世界へ発信するジュエリーブランド「Koorifukerufu」のメンバーとして活躍する卒業生も多々。メーカーも多く存在し、現在は国内のジュエリー出荷額の1/3を占めています。業界が縮小してジュエリーの関係者は苦境にたたきられている」という事実や言われはありつつも、山梨は宝飾業界における日本のリーダー的存在。質とデザインに対する評価も高く、安定して求められ続けているといえます。

### ジュエリーを学ぶ3年間「好き」を仕事にするための入り口

同校が昨年度から3年制に変更した理由は「スペシャリストを育てるため」といいます。価値観が多様化し、ジュエリーを求める消費者の思考が世代によってまったく異なるようになりました。だから、消費者がどういふものを求めるか

がとても読みづらくなった。それを掴むためには常にアンテナを張って時代の動向を感じる必要があります。基礎知識としてジュエリー業界の全体像・全体の流れを知ること。その上で自分の能力が最大限に活かせる分野を見つけて、産業に貢献できる人になってほしいと思います」と高橋准教授。専門分野を学ぶ3年時の1年は可能性を大きく広げるための1年なのだといえます。

さて、同校を志望して入学する学生は様々なきっかけでジュエリーに惹かれ、将来ジュエリー業界に進みたいと考える学生がほとんどです。1年生の今村まどかさんは生まれも育ちも甲府市。城西高校卒業後「ものづくりを仕事にしたい」という夢を描いて入学しました。

「図工や絵を描くことなど、手を動かしてものを作るのが大好きでした。授業もプロダクト(加工)のクラスが楽しいです。技術力を磨いて、将来的には職人になりたいという夢があります」(今村さん)

また、同じジュエリー業界を志しつつも田辺丈一郎さんはビジネスに興味があると話します。

「ものづくりに携わる仕事に就きたいと思っていました。幼い頃石を集めるの



高橋 泰准教授

が好きだったこともあり、ジュエリーについて面白そうと入学しました。ものづくりといっても僕は企画や営業。話し合ってから上げていくという場が好きです」(田辺さん)

ジュエリーという一つの業界にも、様々な役割があり、色々興味を持った人が関わっています。高橋准教授は「石が好き、絵が好き、貴金属が好き。何か好きなことがある若者はジュエリーの選択肢も考え、一緒に地域の産業を盛り上げてほしい」といいます。

### ジュエリーの過渡期 業界と地域社会のかけはしに

近年、高価な宝飾(ジュエリー)よりも安価な装飾品(アクセサリ)を好む人が増えるなど、過渡期にあるジュエリー業界。「地域と一緒に産業界を盛り上げていきたい」と高橋准教授は話します。

地域社会とのつながりを表す象徴的な同校の取り組みが、授業で地元企業とコラボして商品を開発したことや、山梨県地場産業まつりでの展示など。まずは地元の人に「ジュエリーっていいな」と再認識してもらうこと、さらにこれからジュエリー業界に従事しようとする



甲府市出身 今村まどかさん



埼玉県出身 田辺 丈一郎 さん

若い世代が生き生きと発表することは街と産業を元気づけるために必要な活動なのでしょう。

宝飾業界と地域社会、甲府の街と世界をつないでくれる「原石」たち。スペシャリストを育成する山梨県立宝石美術専門学校の取り組み、学生の作品、ぜひ注目してください。

## 宝石加工

山梨県で古くから盛んな宝石加工技術でのオリジナルカットによる制作や彫刻加工技術、宝石の知識を学習。

## WAX加工 (リング制作)

デザイン画を作成後、「ワックス」と呼ばれる樹脂を加工。ジュエリーの元型となる原型を制作する技術の学習。



講師によるWAX加工作品

